

プレスリリース [2018年5月9日]

麻疹（はしか）患者の発生に伴う注意喚起について

平成30年5月3日に川崎市にて報道発表された麻疹患者と、接触歴のある麻疹患者が発生しました。

町田市保健所が患者の疫学調査を実施したところ、町田市内の交通機関を利用したことが判明しました。

本公表は、患者と接触した方が、麻疹に感染している可能性があるために、注意喚起のため、広く情報提供するものです。

■ 患者に関する概要

30歳代 女性（町田市在住） 麻疹予防接種歴1回あり
主な症状は発熱、発疹

■ 経過

4月23日（月） 麻疹患者と医療機関で接触
5月5日（土） 市内バスを利用し、町田駅周辺で行動
5月6日（日） 発症（発熱）
5月7日（月） 自家用車で医療機関を受診し届出
5月8日（火） 遺伝子検査の結果、麻疹と確定

■ 麻疹患者が利用し、接触した可能性のある交通機関

町田駅～成瀬方面バスを往復で利用（5月5日午前10時及び午後2時ころ乗車）

【麻疹について】

- ・ 感染力が非常に強く、免疫を持っていない方が感染するとほぼ100%発症します。
- ・ 感染すると、約10日～12日の潜伏期間の後、38℃前後の発熱や、咳や鼻水といった風邪のような症状が出ます。その後、再び高熱が出るとともに、発疹が現れます。
- ・ 発症する1日前から、他の人に感染させる力があるため、気づかないうちに感染する可能性があります。

【注意事項】

- ・ 麻疹風疹混合ワクチン（MRワクチン）の定期接種（1歳と小学校入学前の年長児）がお済みでないお子さんは、早めに接種を済ませましょう。
- ・ 症状から麻疹が疑われる場合には、必ず事前に医療機関に連絡の上、速やかに受診をして下さい。また、受診の際は、周囲の方に感染させないように、公共交通機関の利用を避けて下さい。

■ 本件に関するお問い合わせ先 保健所保健予防課 課長 河合 042-724-4239